

単元名 かたかなを かこう

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。
(2) 語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫することができる。
(3) 片仮名の表記の仕方に気を付けながら、文の中で使おうとする。

標準的な展開例

01010213_001

【教材名】かたかなを かこう (下 P. 36～P. 37)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教科書 (P. 36～37) にある語を視写する。 ★片仮名を使って、文を書こう。 ○教科書 (P. 36～37) の語を声に出して読む。 ○長音の表し方を知り、視写する。</p> <p>○促音や発音の表し方を知り、視写する。</p> <p>2 片仮名で表記する語を集め、短文を作る。</p> <p>○身の回りにある片仮名で表記されている語を集める。</p> <p>○片仮名の語を使って、短文を作る。</p> <p>○作った短文を友達と交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆順や字形に注意して書かせる。 ・平仮名と片仮名では長音の表し方が異なることを押さえる。 ・平仮名と同様に、小さい文字を書く場所にも注意させる。 <p>【評】短文作りを通して、語と語との続き方に注意しながら書き表し方を工夫する「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の中にある物の中から探させたり、本や図鑑、子ども向けの新聞等を準備しておいたりするとよい。 ・発表させて板書した後、ノートに書かせてもよい。 ・例文をいくつか示しておくとうい。 ・文末には句点を付けることを確認しておく。 <p>【評】片仮名を使って短文作りをする活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流することで、正しく書けたかどうか確かめさせる。

【 備 考 】